

# 京都府漁海況情報

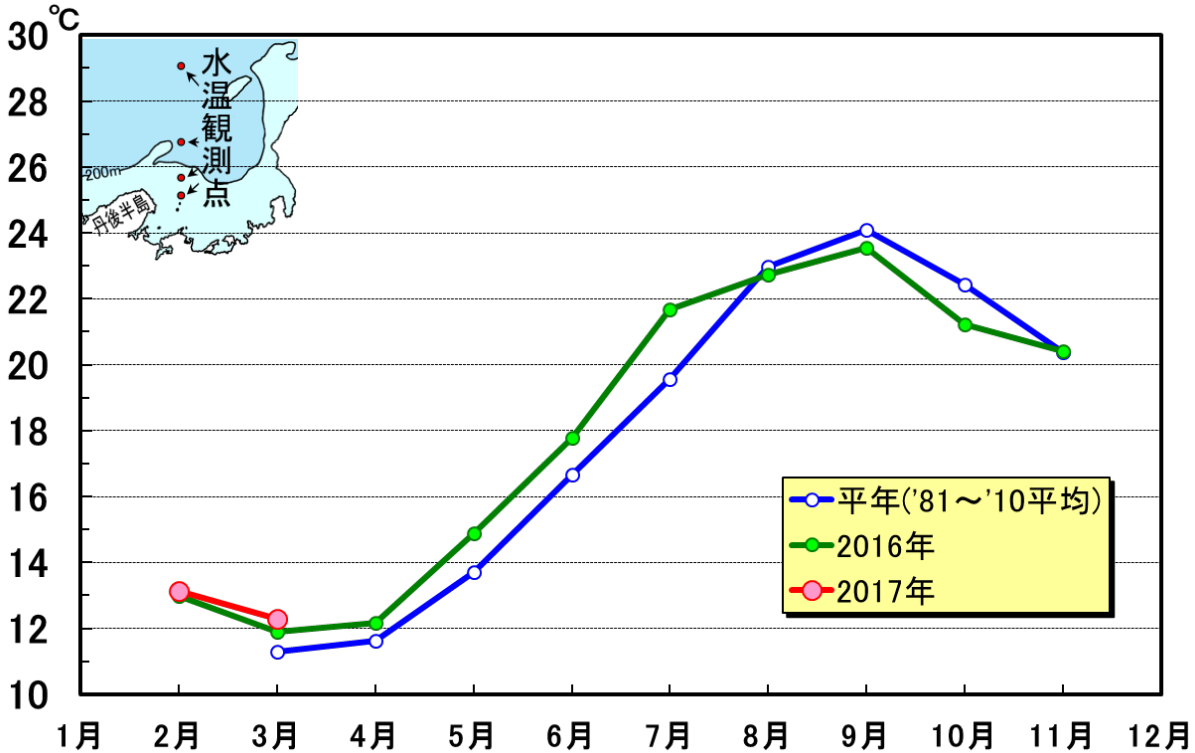
京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

## 海の状況

### 【現況】

平成 29 年 2～3 月における京都府周辺の表層水温は、「平年よりやや高め」～「平年よりかなり高め」で推移していました。

京都府沖の表層水温 (0～50m 深平均)



京都沖水温の平年および前年との比較

	1 月	2 月	3 月
京都沖の表層水温	(観測なし)	13.1 °C	12.3 °C
前年比	—	+0.1 °C	+0.4 °C
平年比	—	+0.7 °C (やや高め)	+1.0 °C (かなり高め)

1～3 月の天気まとめ

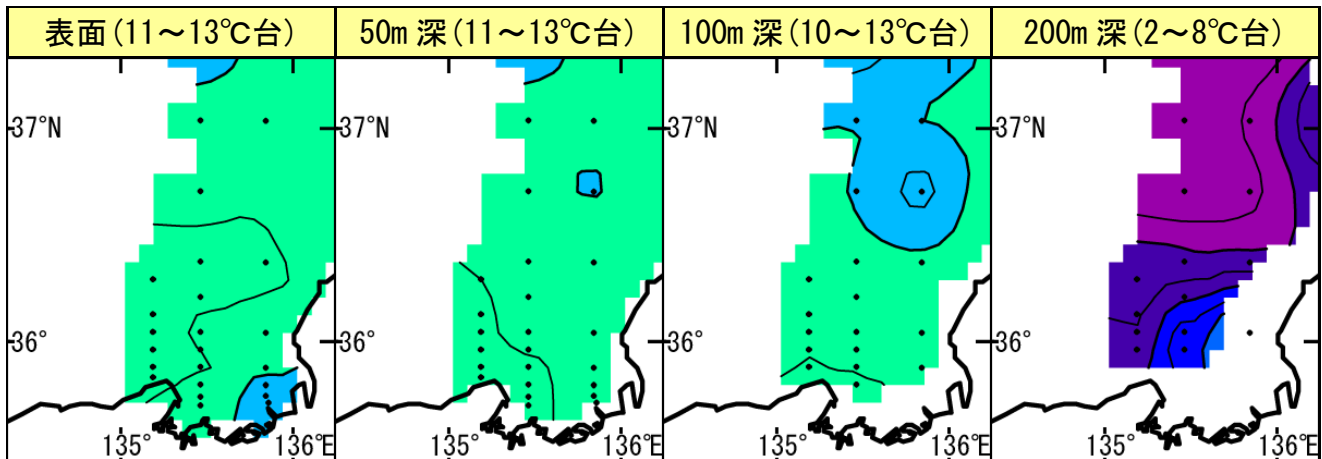
京都北部周辺の平均気温	平年並み。
京都北部周辺の降水量	平年より多かった。

資料元：気象庁

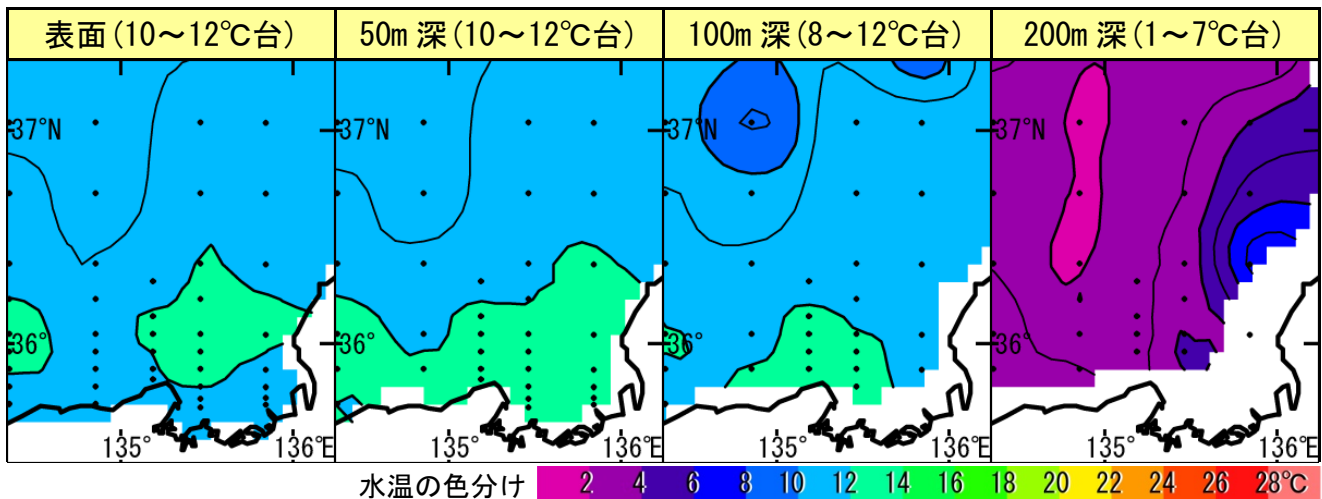
京都府周辺の各層水温(2017年2~3月)

資料元：日本海区水産研究所

2月上旬



3月上旬



【今後の見込み】

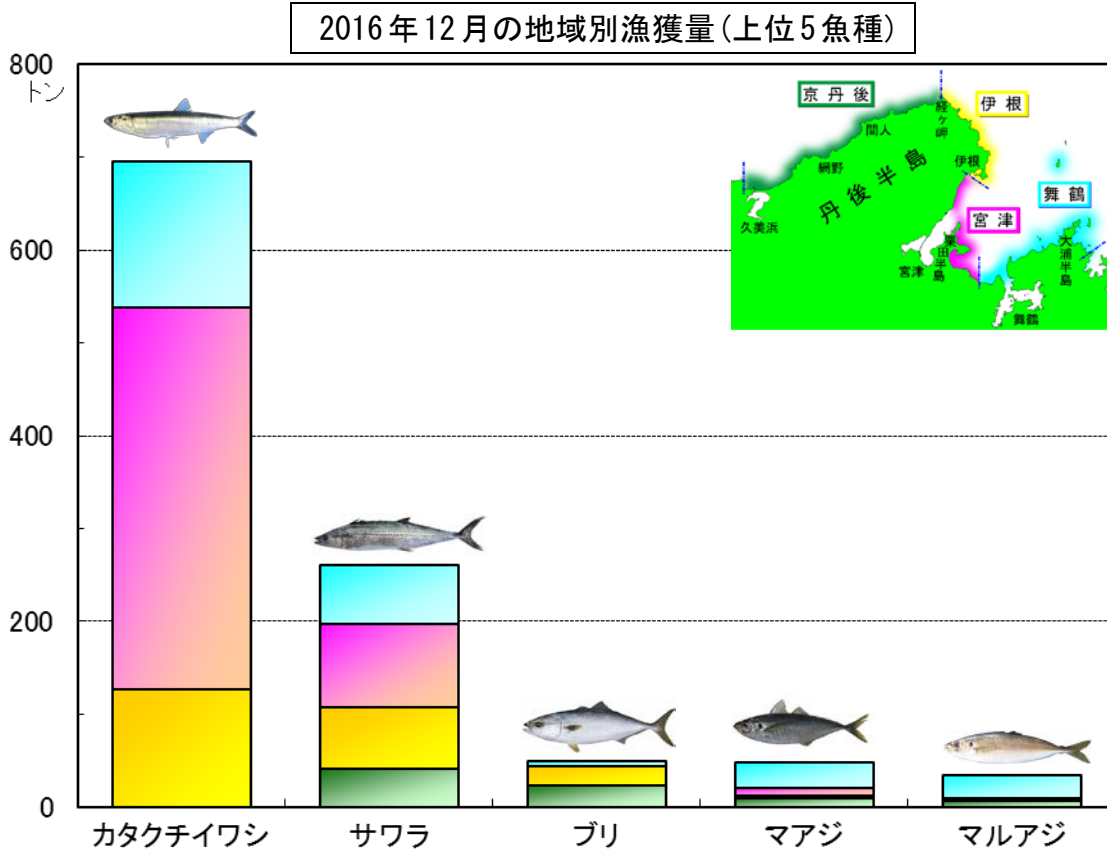
資料元：気象庁

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	平年より「やや低め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	平年より「かなり強い」で推移する見込み

# 漁模様 2016年12月～2017年2月

## 《定置網漁業》【12月】

カタクチイワシが平年の10倍（前年の11倍）、サワラが平年の1.4倍（前年の1.9倍）とかなり好調でした。一方、ブリが平年の3割強（前年の5割強）、マアジが平年の5割（前年の5割）と低調でした。全体では平年の1.5倍（前年の1.9倍）と好調でした。



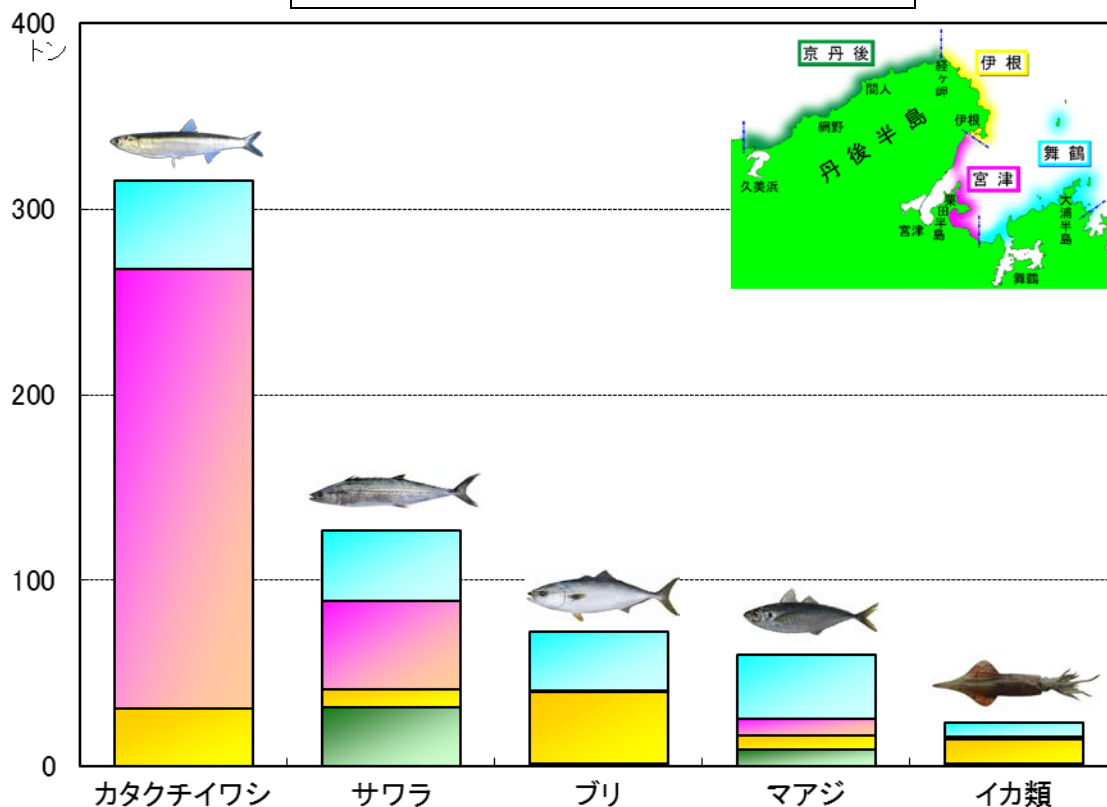
12月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	695.7	63.5 (1095%)	68.4 (1017%)	<カタクチイワシ> 体長は2cm～11cm台でした。
サワラ	260.3	140.5 (185%)	189.3 (137%)	<サワラ> さごし銘柄(体重0.4kg以上1.0kg未満)が7割弱, さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が2割強, さわら大銘柄(体重3.0kg以上)が1割弱でした。
ブリ	50.0	91.7 (54%)	157.2 (32%)	<ブリ> つばす銘柄が7割強, ぶり銘柄(体重4kg以上)が2割弱, まるご銘柄が1割弱, はまち銘柄がごくわずかでした。
マアジ	48.5	97.8 (50%)	97.2 (50%)	<マアジ> 体長は6cm～29cm台でした。
マルアジ(青あじ)	35.0	12.0 (293%)	11.5 (305%)	
タイ類	29.0	8.6 (336%)	9.5 (304%)	
カツオ類	27.6	52.8 (52%)	82.1 (34%)	
サバ類	27.5	15.1 (182%)	12.8 (215%)	
スズキ	26.2	17.6 (149%)	19.2 (137%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	24.9	17.8 (140%)	19.1 (130%)	
その他	115.9	204.9 (57%)	224.1 (52%)	
合計	1340.5	722.2 (186%)	890.3 (151%)	

平年は過去10年平均

# 【1月】

カタクチイワシが平年の2.7倍（前年の20倍）とかなり好調でした。一方、サワラが平年の8割強（前年の5割弱）、マアジが平年の8割弱（前年の7割弱）と低調でした。全体では平年並み（前年の1.1倍）でした。

2017年1月の地域別漁獲量(上位5魚種)



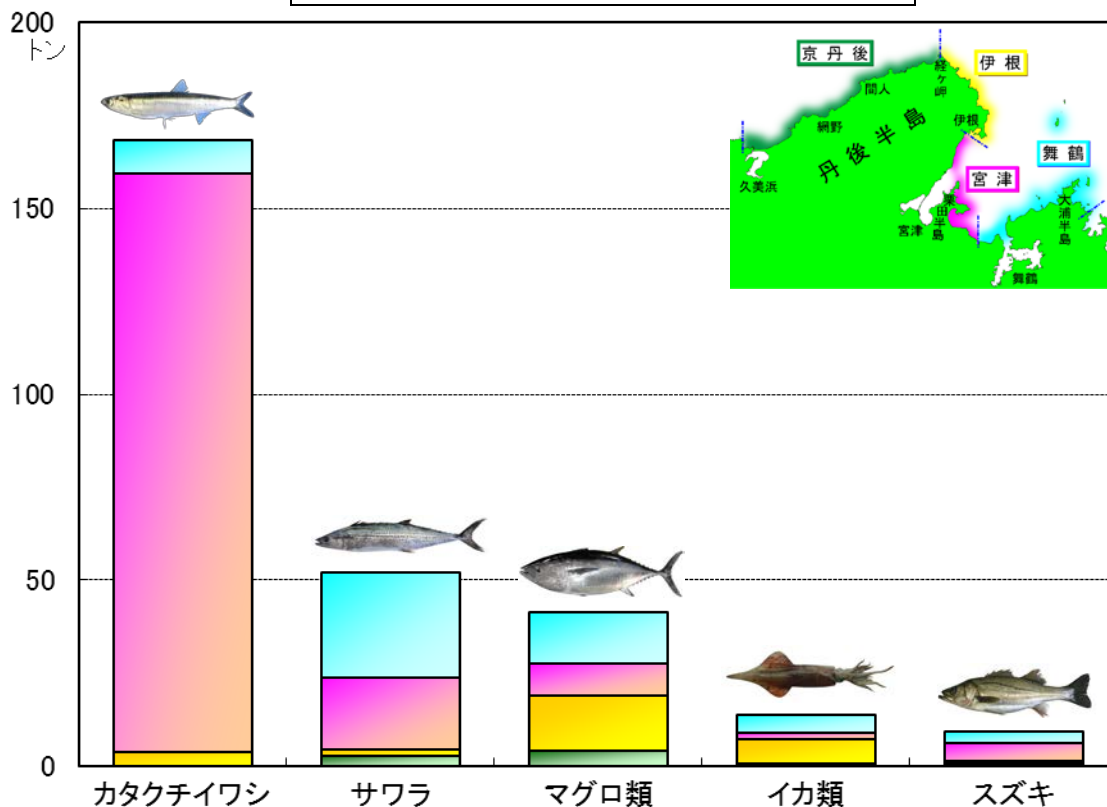
1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	315.4	15.5 (2041%)	117.7 (268%)	<カタクチイワシ> 体長は3cm~8cm台でした。
サワラ	126.8	279.9 (45%)	150.8 (84%)	<サワラ>
ブリ	72.2	30.5 (237%)	110.4 (65%)	さごし銘柄(体重0.4kg以上1.0kg未満)が8割, さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が2割弱, さわら大銘柄(体重3.0kg以上)が1割弱でした。
マアジ	60.3	91.2 (66%)	77.8 (77%)	<ブリ>
イカ類	23.7	48.7 (49%)	30.5 (78%)	つばす銘柄が9割強, ぶり銘柄(体重4kg以上)が1割弱, まるご銘柄, はまち銘柄がごくわずかでした。
スズキ	12.2	13.0 (94%)	8.8 (138%)	<イカ類>
カツオ類	10.9	7.1 (152%)	6.2 (174%)	ヤリイカ(冬いか)が7割弱, アオリイカ(秋いか)が2割弱, ケンサキイカ(白いか)が1割弱などでした。
ウマヅラハギ(長はぎ)	9.6	13.2 (73%)	22.2 (43%)	
タイ類	9.1	9.2 (99%)	6.2 (147%)	
ヒラメ	8.6	5.3 (163%)	5.7 (151%)	
その他	42.3	130.1 (33%)	139.6 (30%)	
合計	691.0	643.7 (107%)	675.9 (102%)	

平年は過去10年平均

## 【2月】

カタクチイワシが平年の2.6倍（前年の2.3倍）、マグロ類が平年の5.3倍（前年の5.7倍）と好調でした。一方、サワラが平年の9割弱（前年の5割弱）、マアジは平年の1割強（前年の2割弱）と低調でした。全体では平年の8割強（前年の9割強）でした。

2017年2月の地域別漁獲量(上位5魚種)



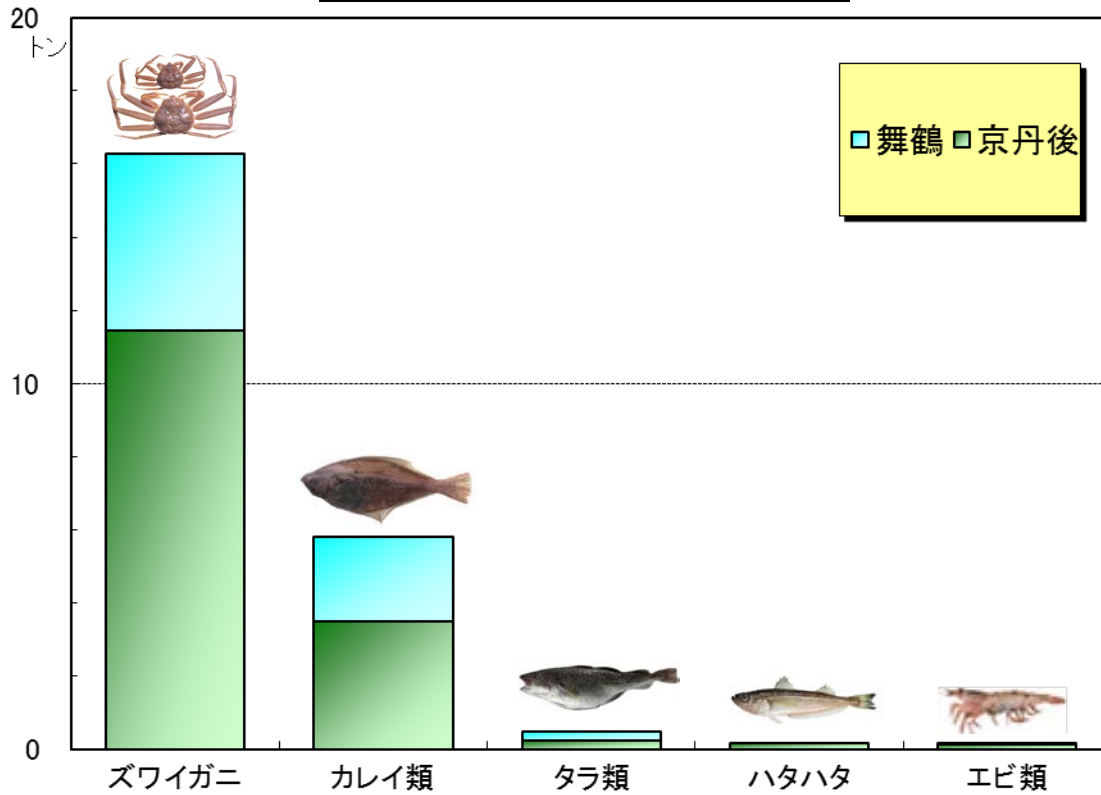
2月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	168.5	73.5 (229%)	64.8 (260%)	<カタクチイワシ> 体長は3cm~7cm台でした。
サワラ	52.1	109.1 (48%)	60.9 (86%)	
マグロ類	41.4	7.3 (569%)	7.9 (527%)	<サワラ> さごし銘柄(体重0.4kg以上1.0kg未満)が7割弱, さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が3割弱, さわら大銘柄(体重3.0kg以上)が1割弱でした。
イカ類	13.7	14.1 (97%)	20.8 (66%)	
スズキ	9.4	9.6 (98%)	6.4 (147%)	<イカ類> ヤリイカ(冬いか)が7割強, ケンサキイカ(白いか)が2割弱などでした。
マアジ	8.4	51.0 (17%)	59.6 (14%)	
カナガシラ	6.3	10.1 (62%)	11.8 (53%)	
ヒラメ	2.5	2.5 (100%)	2.5 (99%)	
ウマヅラハギ <small>(長はぎ)</small>	2.1	3.5 (60%)	6.0 (35%)	
タイ類	1.9	2.0 (93%)	1.5 (124%)	
その他	14.3	69.0 (21%)	140.0 (10%)	
合計	320.5	351.7 (91%)	382.1 (84%)	

平年は過去10年平均

# 《底曳網漁業》【12月】

全体の水揚量は、平年の9割弱(前年並み)でした。

2016年12月の漁獲量(上位5魚種)



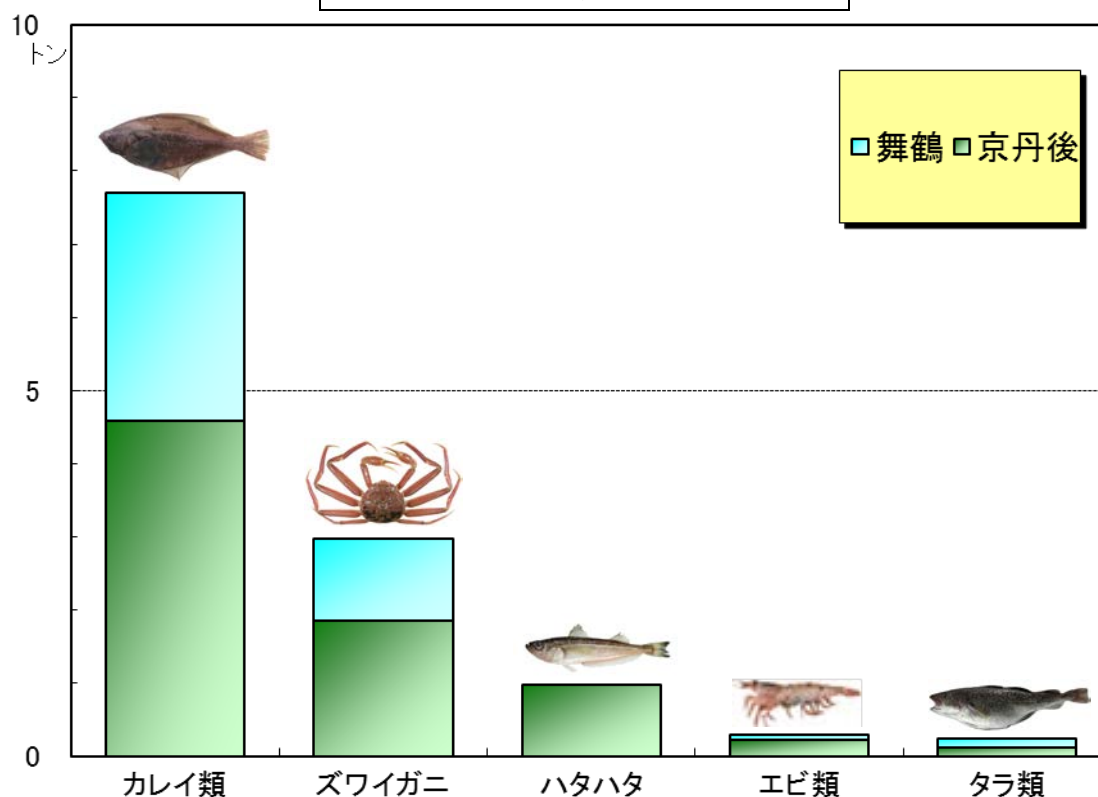
12月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
ズワイガニ	16.3	15.2 (107%)	18.2 (89%)	<ズワイガニ> 雄ガニ(間人がに・舞鶴かに)が8.2トン, 雌ガニ(こっぺ)が8.1トンでした。
カレイ類	5.8	4.6 (126%)	7.3 (80%)	
タラ類	0.5	0.5 (94%)	0.3 (176%)	
ハタハタ	0.2	0.0 (2022%)	0.1 (189%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が8割強, ヒレグロ(黒かれい)が2割弱でした。
エビ類	0.2	0.3 (55%)	0.2 (108%)	
タコ類	0.1	0.0 (273%)	0.1 (119%)	
その他	1.7	1.1 (153%)	0.7 (238%)	
合計	24.7	24.0 (103%)	28.4 (87%)	

平年は過去10年平均

# 【1月】

全体の水揚量は、平年の4割強(前年の1.4倍)でした。

2017年1月の漁獲量(上位5魚種)

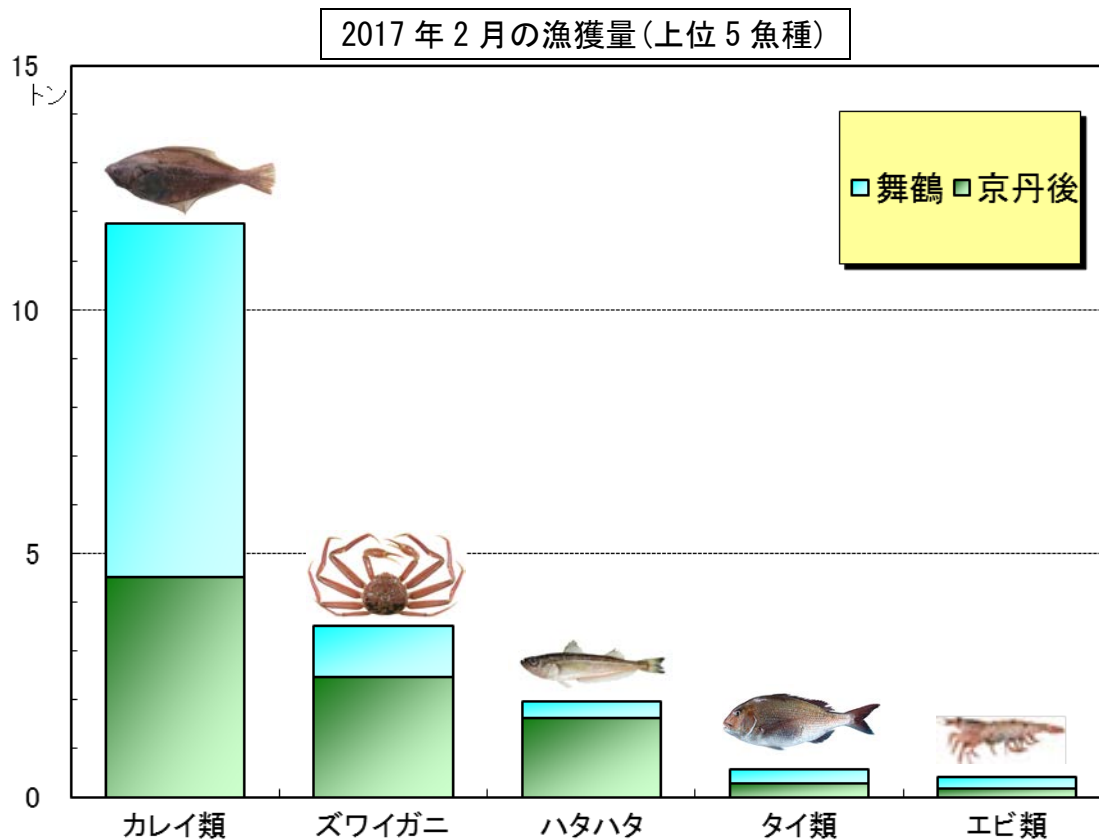


1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)		備考
カレイ類	7.7	3.8 (201%)	15.1	(51%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が8割強, ヒレグロ(黒かれい)が2割弱など でした。  <ズワイガニ> すべて雄ガニ(間人がに・舞鶴か に)でした。
ズワイガニ	3.0	2.4 (122%)	7.8	(38%)	
ハタハタ	1.0	1.3 (74%)	4.6	(21%)	
エビ類	0.3	0.1 (273%)	0.6	(47%)	
タラ類	0.2	0.1 (174%)	0.6	(41%)	
タイ類	0.1	0.3 (52%)	0.3	(44%)	
ニギス(沖きす)	0.1	0.0 (1020%)	0.3	(36%)	
タコ類	0.1	0.1 (42%)	0.8	(8%)	
その他	2.0	1.9 (108%)	4.1	(50%)	
合計	14.5	10.1 (143%)	34.3	(42%)	

平年は過去10年平均

## 【2月】

全体の水揚量は、平年の3割弱(前年の6割強)と低調でした。



2月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)		備考
カレイ類	11.8	13.5 (87%)	32.1	(37%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が8割強, ヒレグロ(黒かれい)が1割強な どでした。
ズワイガニ	3.5	6.6 (53%)	7.3	(48%)	
ハタハタ	2.0	7.8 (25%)	25.9	(8%)	
タイ類	0.6	0.0 (2246%)	0.9	(62%)	
エビ類	0.4	0.8 (54%)	0.8	(55%)	
タコ類	0.2	0.3 (56%)	0.8	(23%)	<ズワイガニ> すべて雄ガニ(間人がに・舞鶴か に)でした。
スズキ	0.1	0.2 (69%)	0.3	(44%)	
アンコウ類	0.1	0.0 (667%)	0.4	(33%)	
タラ類	0.1	0.1 (67%)	0.2	(42%)	
カニ類	0.1	0.0 (163%)	0.9	(6%)	
その他	1.9	3.8 (51%)	4.1	(47%)	
合計	20.8	33.2 (62%)	73.6	(28%)	

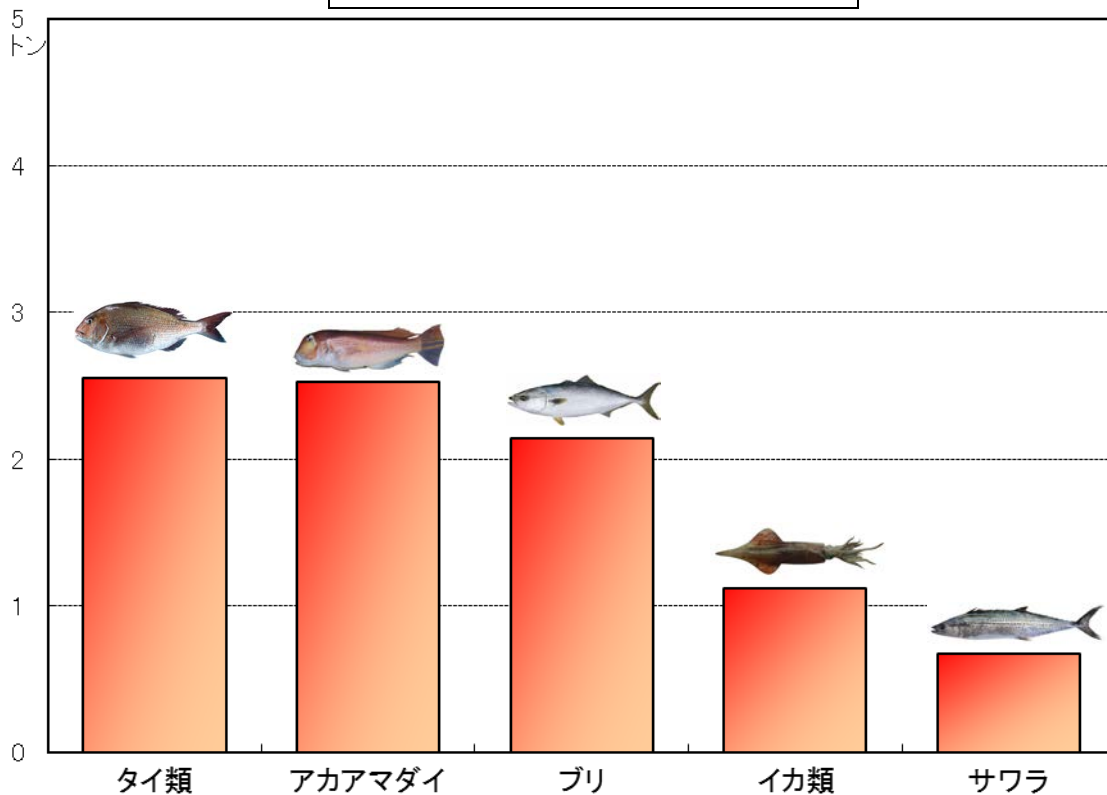
平年は過去10年平均



## 《釣り・はえなわ漁業》【12月】

全体の水揚量は、平年の6割強（前年の7割強）と低調でした。

2016年12月の漁獲量(上位5魚種)



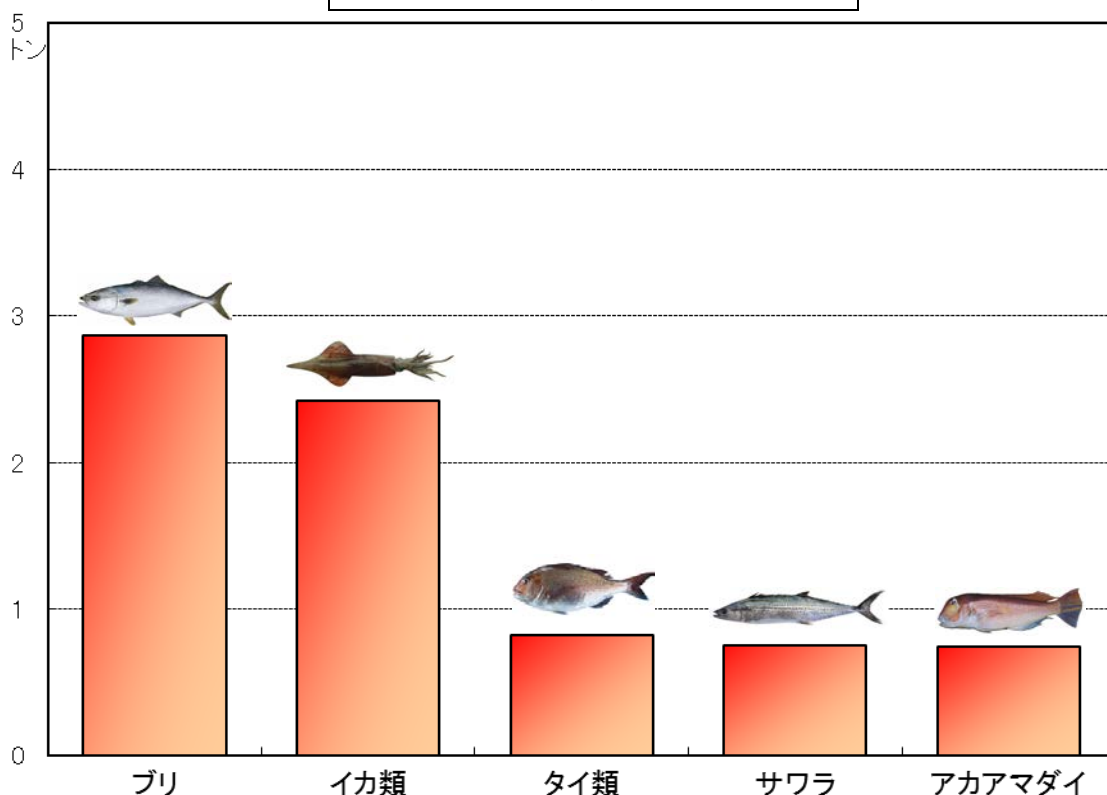
12月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2016年	2015年(前年比)	平年(平年比)	備考
タイ類	2.6	3.0 (86%)	2.2 (119%)	＜タイ類＞ マダイが7割弱、キダイ(れんこ鯛)が3割強などでした。
アカアマダイ(ぐじ)	2.5	2.5 (101%)	2.6 (97%)	
ブリ	2.1	3.6 (59%)	3.9 (55%)	＜ブリ＞ はまち銘柄が6割強、まるご銘柄が2割弱、ぶり銘柄が1割強、つばす銘柄が1割弱でした。
イカ類	1.1	1.2 (96%)	4.0 (28%)	
サワラ	0.7	1.1 (64%)	2.6 (26%)	
メバル類	0.7	0.7 (96%)	0.4 (187%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.5	2.1 (24%)	0.8 (64%)	
メダイ(だるま)	0.3	0.1 (294%)	0.3 (99%)	
メジナ(つかや)	0.2	0.2 (104%)	0.1 (178%)	
ヒラマサ	0.1	0.1 (196%)	0.0 (234%)	
その他	1.0	1.6 (63%)	2.3 (43%)	
合計	11.7	16.0 (73%)	19.1 (61%)	

平年は過去10年平均

# 【1月】

全体の水揚量は、平年の6割弱（前年の6割弱）と低調でした。

2017年1月の漁獲量(上位5魚種)



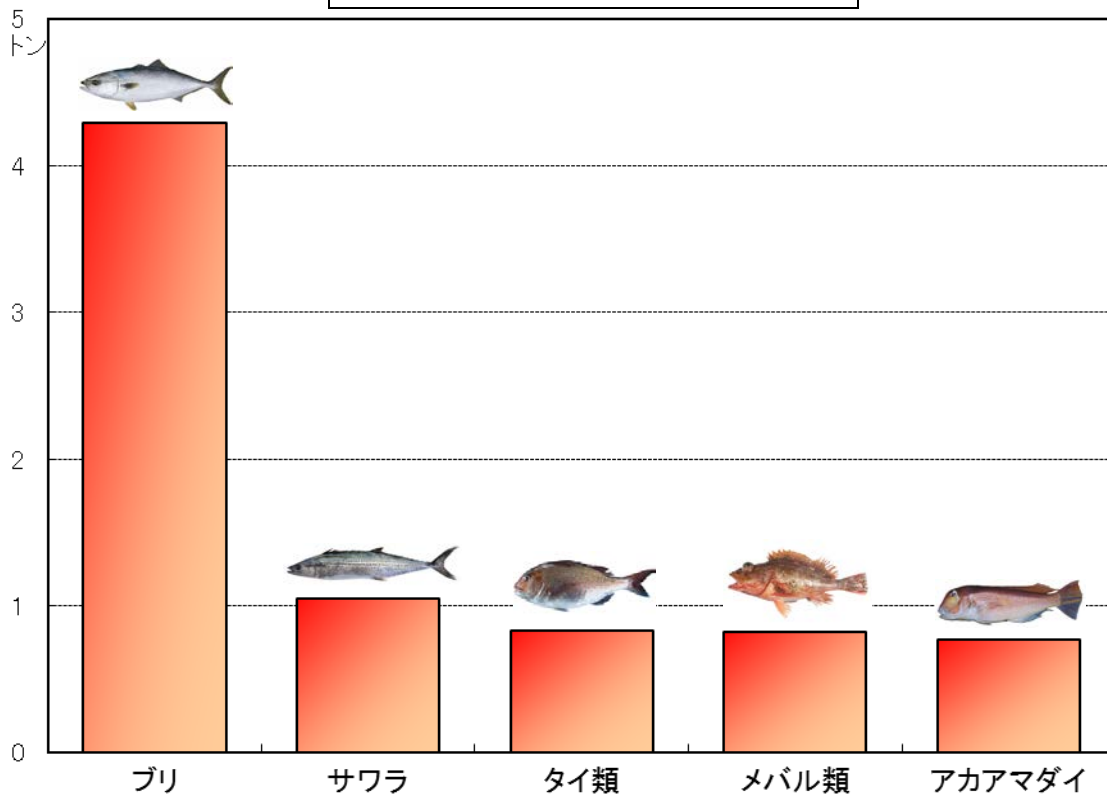
1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	2.9	4.9 (58%)	5.0 (57%)	<ブリ> つばす銘柄が4割弱, はまち銘柄が3割弱, まるご銘柄が2割弱, ぶり銘柄が1割強でした。
イカ類	2.4	1.9 (125%)	1.2 (201%)	
タイ類	0.8	1.0 (81%)	1.0 (80%)	
サワラ	0.8	5.3 (14%)	4.0 (19%)	
アカアマダイ(ぐじ)	0.7	1.3 (57%)	1.2 (61%)	
メバル類	0.5	0.2 (284%)	0.4 (134%)	<イカ類> ヤリイカ(冬いか)が1.2トン, スルメイカ(するめいか)が1.2トンなどでした。
カレイ類	0.2	0.1 (154%)	0.1 (242%)	
スズキ	0.1	0.1 (94%)	0.0 (176%)	
メジナ(つかや)	0.1	0.0 (330%)	0.0 (239%)	
その他	0.3	1.0 (29%)	1.6 (17%)	
合計	8.8	15.9 (55%)	15.2 (58%)	

平年は過去10年平均

## 【2月】

全体の水揚量は、平年の7割弱（前年の6割弱）と低調でした。

2017年2月の漁獲量(上位5魚種)



2月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2017年	2016年(前年比)	平年(平年比)	備考
ブリ	4.3	8.0 (54%)	4.6 (94%)	<ブリ> はまち銘柄が8割弱, つばす銘柄が2割弱, ふり銘柄, まるご銘柄がごくわずかでした。
サワラ	1.0	2.9 (36%)	3.0 (36%)	
タイ類	0.8	1.4 (59%)	1.0 (81%)	
メバル類	0.8	0.4 (214%)	0.7 (110%)	
アカアマダイ(ぐじ)	0.8	1.1 (68%)	1.2 (66%)	
イカ類	0.3	0.2 (197%)	0.5 (63%)	<サワラ> さごし銘柄(体重0.4kg以上1.0kg未満)が7割弱, さわら銘柄(体重1.0kg以上3.0kg未満)が2割強, さわら大銘柄(体重3.0kg以上)が1割弱でした。
カレイ類	0.2	0.2 (98%)	0.1 (110%)	
メジナ(つかや)	0.1	0.0 (3650%)	0.0 (299%)	
ウマヅラハギ(長はぎ)	0.1	0.1 (75%)	0.1 (132%)	<タイ類> マダイが7割弱, キダイ(れんこ鯛)が3割弱などでした。
スズキ	0.1	0.3 (30%)	0.1 (127%)	
その他	0.4	0.9 (49%)	1.7 (25%)	
合計	9.0	15.4 (58%)	13.0 (69%)	

平年は過去10年平均